



「魅力ある人を育て
新しい価値を創造し続けるまち大槌」の実現に向けて

令和 3 年度

大槌町総合開発計画評価委員会

日時：令和 3 年 8 月 11 日（水）18:00～
場所：大槌町役場 大会議室

令和 2 年度大槌町総合計画 実施状況について

- 1 .はじめに
- 2 .令和 2 年度の取組みについて
- 3 .総合計画目標指標の進捗について
- 4 .令和 2 年度の主要事業について

1. はじめに

- ①第9次大槌町総合計画の趣旨・体系
- ②まちづくりの基本理念・基本方針
- ③まちづくりの基本理念・基本方針の体系
- ④総合計画の推進体制・PDCAサイクル

①第9次大槌町総合計画の趣旨・体系

町の総合的な指針

復興計画の後継

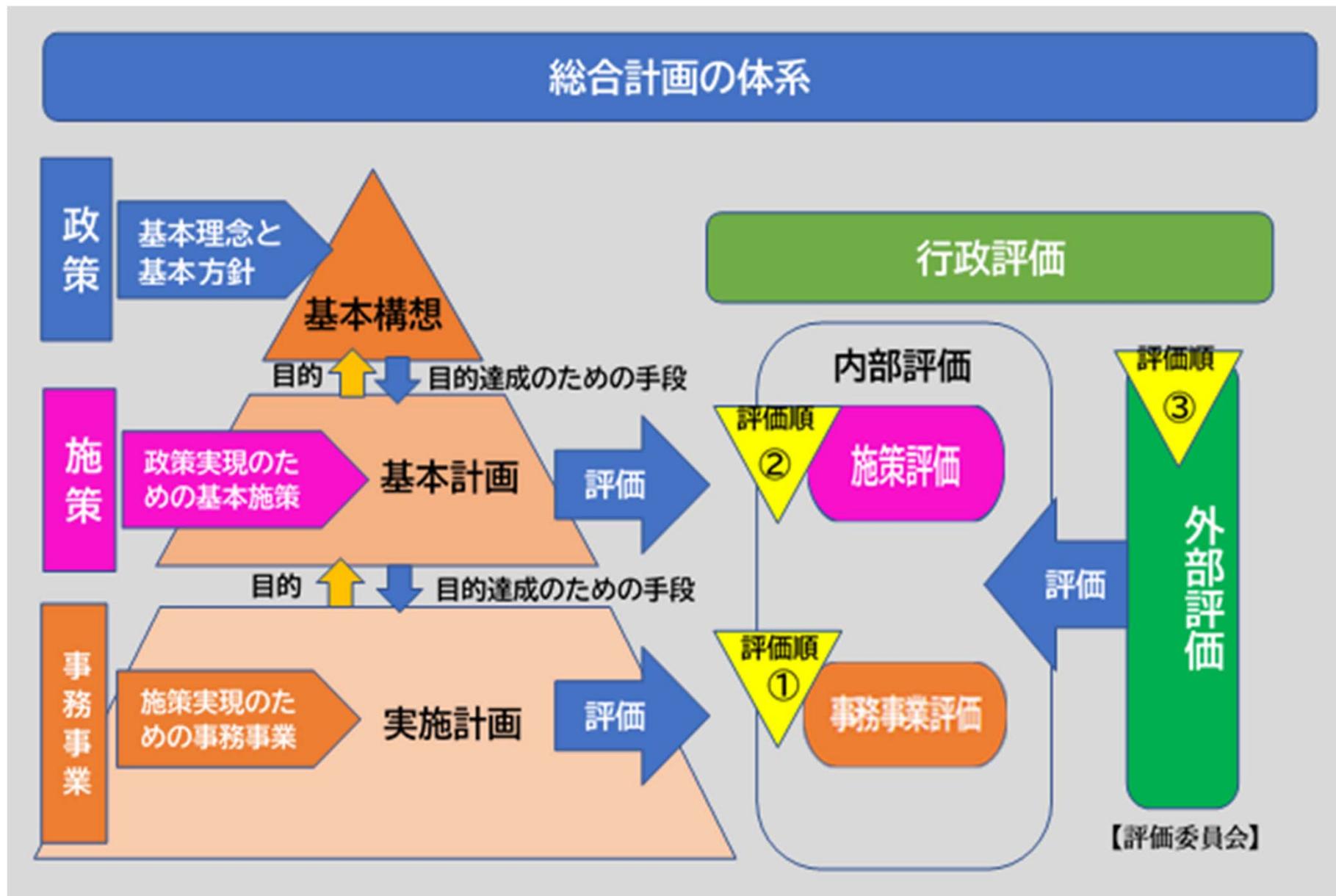
町民と行政の**協働**

持続可能なまちづくり

大槌町**地方創生**総合戦略



①第9次大槌町総合計画の趣旨・体系



②まちづくりの基本理念・基本方針の体系

基 本 理 念

「魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌」

産業・観光

基本
方針 1

産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり

健康・福祉

基本
方針 2

健康でぬくもりのあるまちづくり

教育・文化

基本
方針 3

学びがふるさとを育て
ふるさとが学びを育てるまちづくり

安全・快適

基本
方針 4

安全性と快適性を高めるまちづくり

地域振興・
行財政運営

基本
方針 5

将来を見据えた持続可能なまちづくり

震災復興

基本
方針 6

未来につなげる着実な復興まちづくり

②まちづくりの基本理念・基本方針の体系

基 本 理 念

「魅力ある人を育て、新しい価値を創造し続けるまち大槌」

基本計画

指標合計 48項目

産業・観光

基本方針 1

○産業を振興し町民所得を向上させるまちづくり

基本施策①

目標指標 [3項目]

おおつちの自然を活かし、継承する一次産業の実現

基本施策②

目標指標 [2項目]

働きやすく、骨太なおおつちの商工業の推進

基本施策③

目標指標 [1項目]

おおつちらしい観光物産戦略の展開

令和2年度 242事業

実施計画

基本施策実施計画 [28事業]

うち、主要事業 8事業

基本施策実施計画 [10事業]

うち、主要事業 2事業

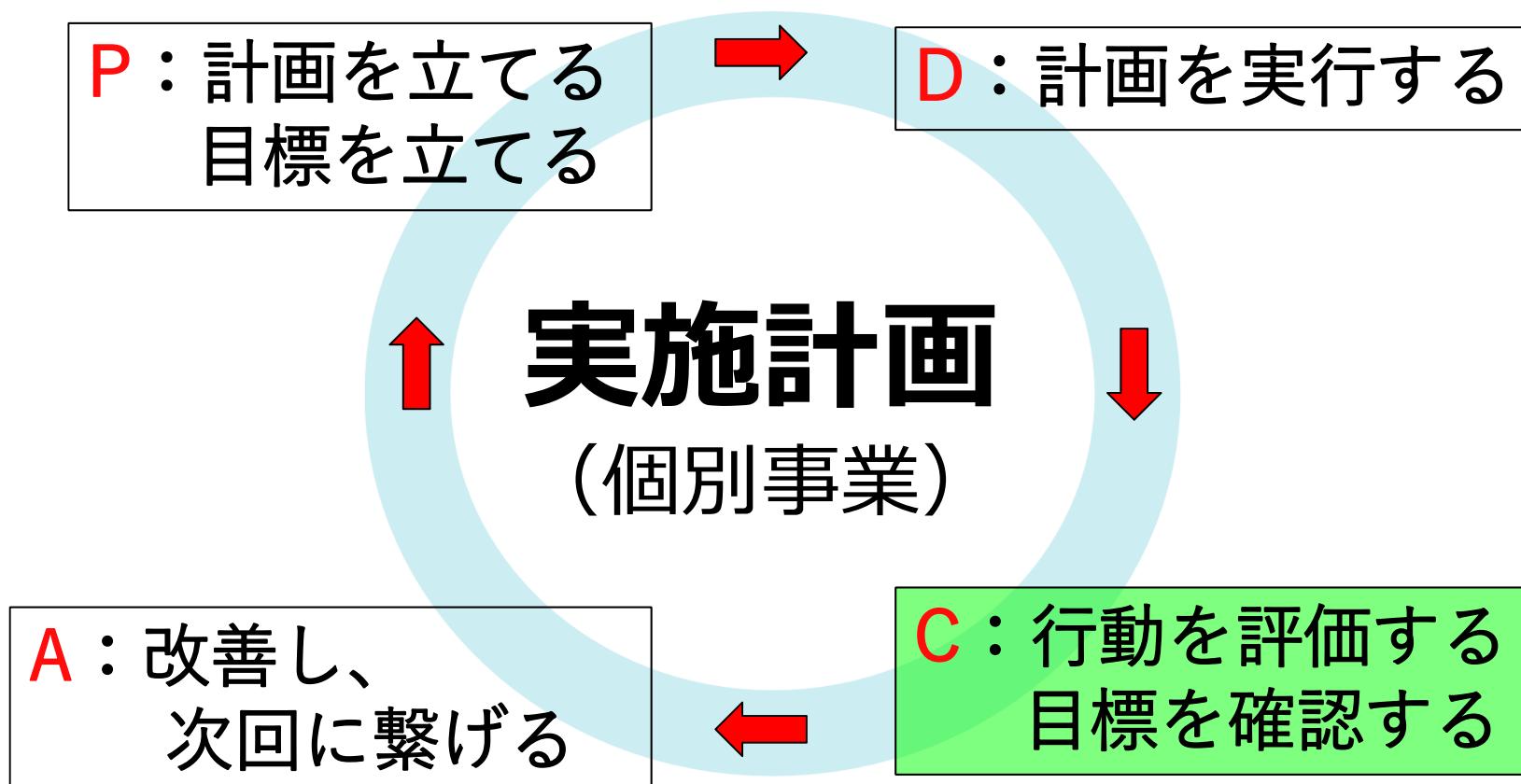
基本施策実施計画 [16事業]

うち、主要事業 4事業

③総合計画の推進体制・PDCAサイクル

PDCAとは「Plan（計画）」「Do（実行）」「Check（評価）」「Action（改善）」の頭文字をとったものです。

業務の効率化を目指し、計画から改善までを「1つのサイクル」として行います。



2. 令和2年度の取組みについて

2. 令和2年度の取組みについて

- ①令和2年度「施政方針」新産業の創出」
- ②令和2年度「産業成長戦略予算」
- ③「新型コロナウイルス感染症」緊急対応

③新型コロナウイルス感染症緊急対応について

「地方創生臨時交付金」を活用した主な対応 【令和2年度 45事業】

I．感染拡大の防止

- ・感染症に対応した公共施設（避難所を含む）の整備
 - ・町内事業者が実施する感染症対策費用を補助
- など14事業

II．雇用の維持と事業の継続

- ・感染症の影響を受けている町内事業者に事業継続支援金等を交付
- など13事業

III．経済活動の回復

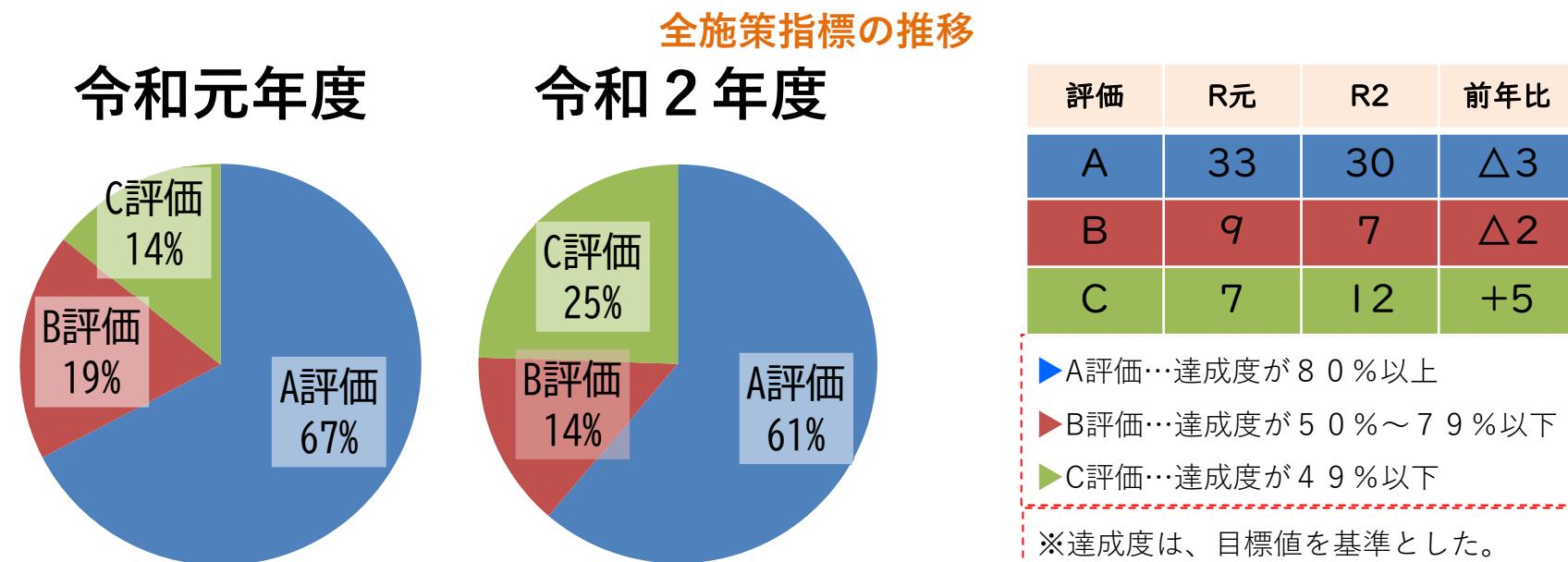
- ・地域商品券、キャッシュレス決済推進、特産品販売促進などの消費喚起
- など17事業

IV．強靭な経済構造の構築

- ・GIGAスクールに対応した教育用タブレット整備や中央公民館分館のWi-Fi整備による遠隔教育活用
- など再掲を含む2事業

3. 総合計画目標指標の進捗について

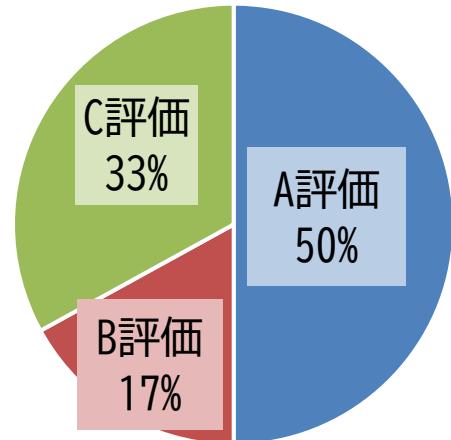
施策の目標指標（全48項目）の進捗について



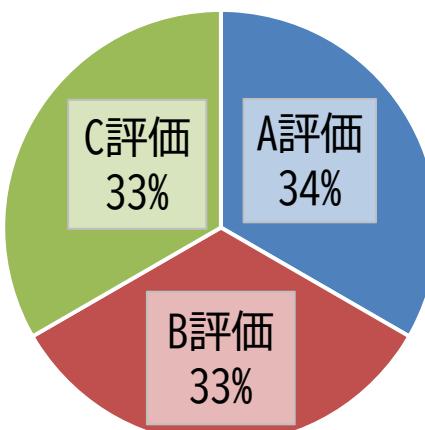
【考察】

- ・令和2年度は、新産業の創出や産業成長を目指した施策は、新型コロナウィルス感染症の緊急対応に伴い、様々な活動に制限があった。
- ・指標全体の推移では、緊急事態宣言に伴う人や物の移動制限・自粛により、イベントや参集活動などが縮小され、活動の開催や参加者数などを目標指標としている項目が低迷となつた。一方、地方創生臨時交付金を活用した感染症対策をはじめ、事業継続や経済活動の支援策などでは、前年度から改善した項目も見られた。

令和元年度



令和 2 年度



【考察】

① 【農地高活用転換面積】

農地活用面積が前年対比で1.454ha増加した背景には、ピーマン栽培の増加や、土を耕す手間と時間を要しない「水耕栽培」の増加が考えられる。

② 【大槌魚市場水揚額】

魚市場水揚げ額については、H30実績（基準値：367,172千円）からは低迷しているものの、前年対比では38,862千円増加した。その背景には、地方創生臨時交付金を活用した魚網等購入によるサバ・イワシの水揚げ量の増加が考えられる。

⑤ 【釜石・大槌地域への新卒者就職率】

⑥ 【観光客入込数】

全国的に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等の自粛による観光客の減少があった。

新卒者の就職状況は、首都圏等の求人減少に加え、町外転出への不安などにより、釜石大槌管内の就職増加が考えられる。

産業・観光分野の指標の推移

指標	R元	R2
①農地高活用転換面積	B	B
②大槌魚市場水揚額	C	C
③第一次産業新規就業者数	C	C
④一人当たりの市町民所得の県内順位	A	A
⑤釜石・大槌地域への新卒者就職率	A	A
⑥観光客入込数	A	B
合 計	A B C	3 1 2

▶A評価…達成度が80%以上

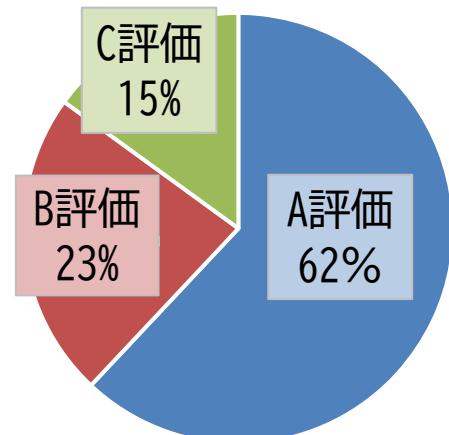
▶B評価…達成度が50%～79%以下

▶C評価…達成度が49%以下

※達成度は、目標値を基準とした。

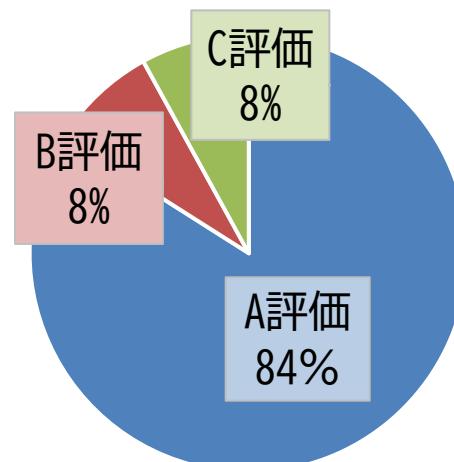
健康でぬくもりのあるまちづくり

令和元年度



健康・福祉分野の指標の推移

令和2年度



【考察】

- ①【自治会・町内会等の組織数】
- ②【民生委員・児童委員充足率】

大槌町コミュニティ協議会で自治会・町内会等の活動を情報共有することで、新たな組織・団体の形成（6団体増）に繋がったことで、民生委員・児童委員の充足率（5%）増加にも繋がった。

⑥【標準化死亡比（総死亡）】

新型コロナウイルス感染症の対応策の一つとして、外出機会の自粛から健康増進を図るため取り組んだ、短期間のラジオ体操放送や、ピンこころ体操の放映などは、自宅での健康づくりの推進に繋がった。

⑨【認知症サポーターの育成数】

高齢者見守りネットワーク認定事業者は、地元事業所の認定が着実に進められている。一方、仮設住宅の閉鎖や復興の収束に伴い、復興支援団体の撤退により認定事業所の減少が全体の減少要因となっている。

指標	R元	R2
①自治会・町内会等の組織数	B	A
②民生委員・児童委員充足率	B	A
③ボランティア登録者数	C	B
④児童数（11歳以下）	A	A
⑤待機児童数（4月現在）	A	A
⑥標準化死亡比（総死亡）	A	A
⑦要介護2以上の認定率（5年平均）	A	A
⑧大槌町高齢者等見守りネットワーク協定締結事業者数	A	A
⑨認知症サポーターの育成数	B	A
⑩施設入所者数	A	A
⑪施設利用者の一般就労移行者数（人/年）	C	C
⑫休日・夜間救急診療体制対応日数	A	A
⑬国民健康保険加入者一人当たり医療費	A	A
	A	11
合 計	B	1
	C	1

▶A評価…達成度が80%以上

▶B評価…達成度が50%～79%以下

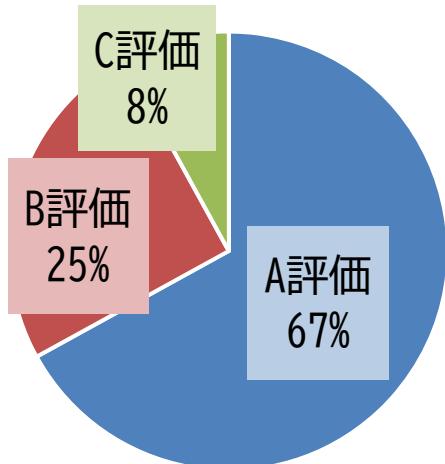
▶C評価…達成度が49%以下

※達成度は、目標値を基準とした。

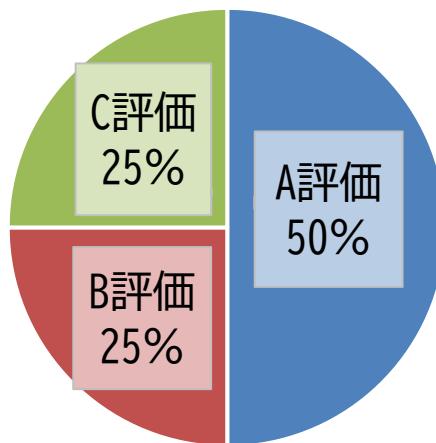
学びがふるさとを育て ふるさとが学びを育てるまちづくり

教育・文化分社の指標の推移

令和元年度



令和 2 年度



【考察】

- ②【公民館（分館）活動等事業参加者数】
- ⑥【芸術文化・文化財事業参加者数】
- ⑧【図書館来館者数】、⑨【図書貸出冊数】

参考活動の指標は、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の自粛などにより、施設の利用者数が減少した。
図書館来場者数は前年と比べ減少（12,171人減）したが、読書は自宅など場所に制限がないため、図書貸出冊子数は微増（845冊増）している。

- ①【自己肯定感を持った児童生徒の割合】
- ⑪【教員の職場環境に対する非ストレス度】

児童生徒と教職員が校内で一緒に過ごす時間を確保したことによって、児童生徒の自己肯定感の向上及び教職員のストレス改善につながったと考えられる。

指標	R元	R2
①自己肯定感を持った児童生徒の割合	B	A
②公民館（分館）活動等事業参加者数	C	C
③大槌高校の学級数	A	A
④学校ボランティアの受入数	A	C
⑤放課後学習施設登録児童数の割合	B	B
⑥芸術文化・文化財事業参加者数 (町民文化祭・郷土芸能祭)	A	C
⑦体育施設利用件数	B	B
⑧図書館来館者数	A	A
⑨図書貸出冊数	A	A
⑩学校における校舎内外の安全点検の回数	A	A
⑪教員の職場環境に対する非ストレス度	A	A
⑫震災伝承展示物の更新	A	B
合 計		
	A	8 6
	B	3 3
	C	1 3

▶A評価…達成度が 80 %以上

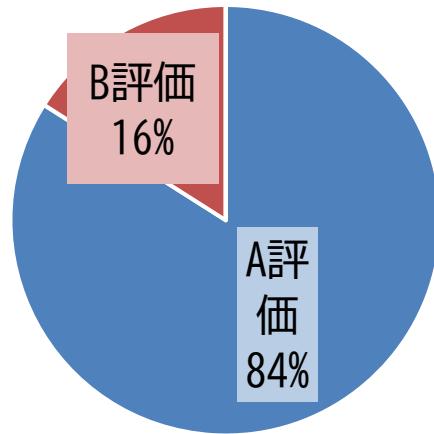
▶B評価…達成度が 50 %～79 %以下

▶C評価…達成度が 49 %以下

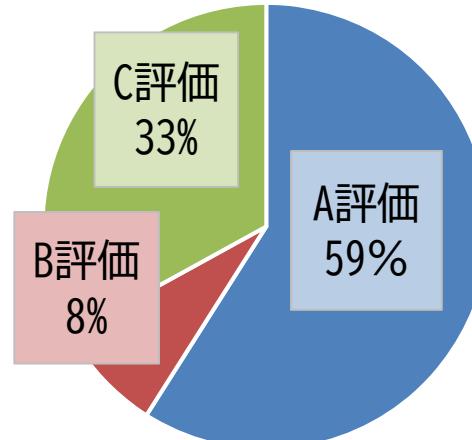
※達成度は、目標値を基準とした。

安全性と快適性を高めるまちづくり

令和元年度



令和 2 年度



【考察】

- ②【防災に関する研修実施数】
- ③【防災訓練実施数】

新型コロナウイルス感染症に対応した避難所施設の整備と併せ、感染症拡大防止に必要な物品を整備し、避難者受け入れ体制の構築を図り、参集訓練や講習会などは全体的に自粛したことから実施数は減少した。

⑩【下水道水洗化率】

下水道水洗化率は、沢山地区の既存住宅エリアを拡大したことや、復興事業に従事する事業者の撤退による利用者の減少などで、率が5ポイント減少した。

⑫【大槌駅乗車人数】

大槌駅乗車人数は、新型コロナウイルス感染症の影響による、移動の制限、抑止によって減少した。

安全・快適分野の指標の推移

指標	R元	R2
①地区防災計画作成済組織数	B	B
②防災に関する研修実施数	A	C
③防災訓練実施数	A	C
④消防団員数	A	A
⑤訓練・講習会実施数	A	C
⑥1人1日あたりのごみの排出量	A	A
⑦町内の交通事故件数	A	A
⑧大槌町インターネット施設加入率	A	A
⑨水道管耐震化率	A	A
⑩下水道水洗化率	A	A
⑪道路舗装率	A	A
⑫大槌駅乗車人数	B	C
合 計	A B C	10 7 1 0 4

▶A評価…達成度が 80 %以上

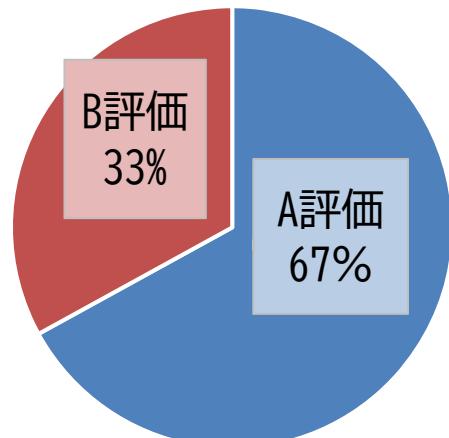
▶B評価…達成度が 50 %～79 %以下

▶C評価…達成度が 49 %以下

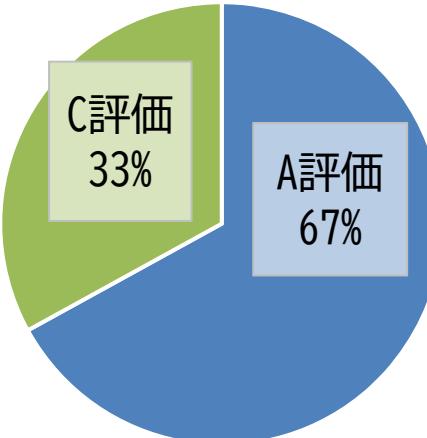
※達成度は、目標値を基準とした。

将来を見据えた持続可能なまちづくり

令和元年度



令和 2 年度



【考察】

- ②【U I ターン総合相談窓口を活用した移住者数】
U I ターン総合相談においては、首都圏等の緊急事態宣言に伴い、移動制限があったことから、前年度の288件から11件に減少した。
- ④【財政健全化判断比率の実質公債費率】
健全な財政運営の推進には、町の公債比率の抑止するため、国、県の交付金等を活用するとともに「ふるさと納税」など様々な自主財源の確保と活用が必要です。目標には、起債制限を受けない比率を維持することを掲げております。令和元年度から公債比率の増加には、町独自の復興事業や地方創生に向けた施設への投資に係る返済が開始したことにより公債費率が増加している。

地域振興・行財政運営分野の指標の推移

指標	R元	R2
①自治会・町内会等の組織数	B	A
②U I ターン総合相談窓口を活用した移住者数	A	C
③地方自治法に基づく審議会等の女性比率	A	A
④財政健全化判断比率の実質公債費率	A	A
⑤地方税の収納率	A	A
⑥職員研修の実施回数	B	C
合 計	A B C	4 2 0 4 0 2

▶A評価…達成度が 80 %以上

▶B評価…達成度が 50 %～79 %以下

▶C評価…達成度が 49 %以下

※達成度は、目標値を基準とした。

4. 令和2年度の主要事業について

- ①大槌町ジビエソーシャルプロジェクト
- ②大槌町地域産業イノベーション事業
- ③大槌高校魅力化推進事業
- ④区画整理地内の土地利用推進
- ⑤ふるさと納税と特産品贈呈事業

①大槌ジビエソーシャルプロジェクト

産業振興課

①大槌ジビエソーシャルプロジェクト

産業・観光施策

地方創生施策

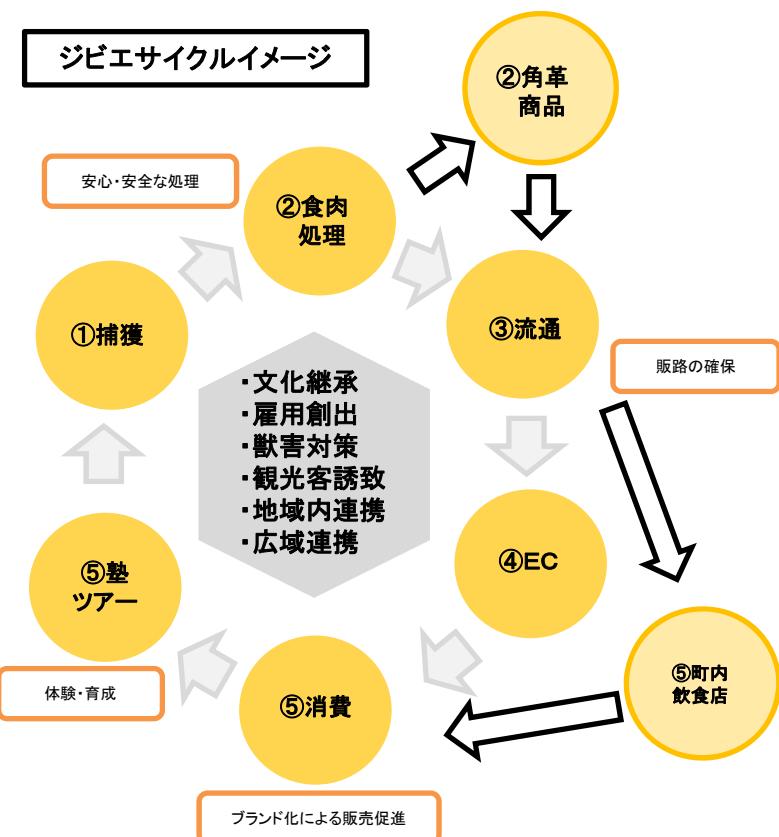
【概要】

(1)ジビエ基盤整備事業

町内において「捕獲」から「ハンタ一育成」までのサイクルを作り、持続可能なソーシャルビジネスの基盤を構築するとともに、ジビエ工業界の好循環化に資する取り組みを行います。

(2)ジビエPR事業

町内における多角的展開ジビエ料理やジビエツアー等のジビエ関連事業の多角展開及び町内のジビエ取扱い店舗と連携した観光客誘致及び交流人口拡大に資する取り組みを行います。



①大槌ジビエソーシャルプロジェクト

産業・観光施策

地方創生施策

【実績・成果】

事業に係る交流人口

3,962人（うち観光客1,220人）

(1)ジビエサイクルに係る
関係人口 247人

(2)オンラインプラット
フォーム利用者数 1,722人

(3)PR事業の効果による
交流人口者数 1,993人



鹿肉試食会



鹿革キーholダーワークショップ

①大槌ジビエソーシャルプロジェクト

産業・観光施策

地方創生施策

【現在の取組み状況、今後の予定など】

(1)ジビエサイクルの構築

- ①野生鳥獣を扱う食肉事業主体者自ら、鹿・個体捕獲業務に有する時間と仕組みづくりに重点を置いた支援を実施。
- ②起業・自立する為の担い手育成総合的サポート（マーケティング、セールス、ブランディング等）を開始。
- ③商品開発に向けた試作品の検証、町一体のジビエブランディング実施。
- ④ジビエ塾の運営
- ⑤ジビエツーリズムの開催

(2)ジビエP R事業

- ①ジビエ事業のP R
- ②オフラインイベントの開催
- ③オンラインフェアの開催
- ④大槌ジビエのプロモーション動画の製作



②大槌町地域産業イノベーション事業

産業振興課

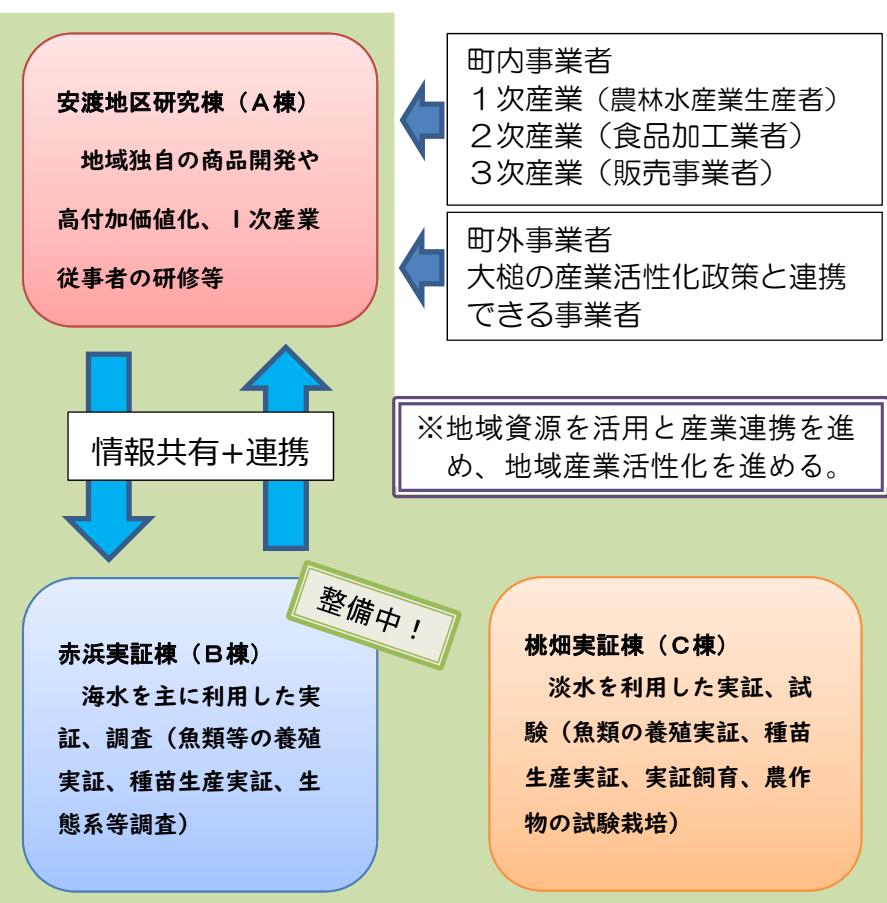
②大槌町地域産業イノベーション事業

産業・観光施策

地方創生施策

【概要】

新産業創出のため、農林水産業生産物の養殖栽培実証を行い、新規種目や生産量の拡大を図ると共に、これら生産物を基に新たな加工品の開発や付加価値化を促進し、一次生産から二次加工販売までの一体的な産業の活性化を図ります。



②大槌町地域産業イノベーション事業

産業・観光施策

地方創生施策

【実績・成果】

●安渡研究棟（A棟）稼働中

年間利用実数

件数 **739件**
人数 **3,077名**

●赤浜実証棟（B棟）建設中

9月稼働予定

●桃畠実証棟（C棟）稼働中

- ・淡水を利用した実証、試験
- ・魚類の養殖実証
- ・種苗生産実証
- ・実証飼育
- ・農作物の試験栽培



A棟 安渡研究棟



C棟 桃畠実証棟



B棟 赤浜実証棟

②大槌町地域産業イノベーション事業

産業・観光施策

地方創生施策

【現在の取組み状況、今後の予定】

ギンザケ、トラウトサーモンの海面養殖試験やジビエ等の研究を行っています。海面養殖試験では、約85トンの水揚があり、一定の成果がみられたことから、大槌町は海面養殖に有効とられるため、新たな海面利用を模索します。

また、有害鳥獣であるシカを活用したジビエ事業の研究等、新たな産業の創出を推し進めます。



新たな特産品と雇用が生まれています！

③大槌高校魅力化推進事業

学務課

③大槌高校魅力化推進事業

教育施策

地方創生施策

【概要】

魅力的な高校づくりを県立高校と町が協働して行うことで、高校の安定的存続と人材の育成の実現を図ります。

大槌高校に専門の外部スタッフを複数名入れ、魅力化事業を推進します。

大槌高校のカリキュラムを見直し、大槌ならではの特色を活かした魅力あるカリキュラムづくりを支援します。



大槌の特色を活かしたカリキュラムづくりの支援

③大槌高校魅力化推進事業

教育施策

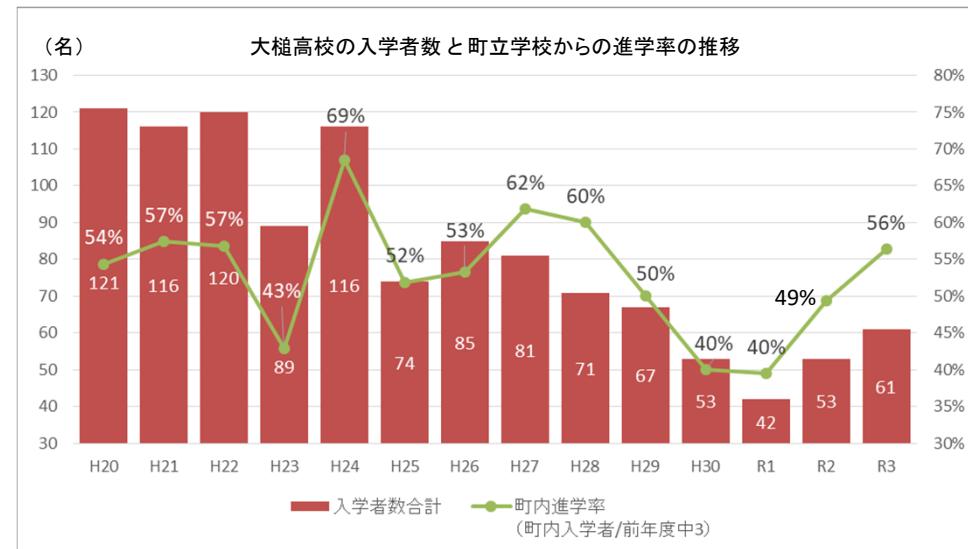
地方創生施策

【実績・成果】

●高校魅力化構想会議
3回開催

●大槌高校独自のカリキュラム
「三陸みらい探究」の授業支援
・1学年70時間
・2学年70時間
・3学年35時間

●地域みらい留学フェスタへの参加
・個別相談会に14組が参加
・オープンスクールに5組が参加
・このうち1名が大槌高校へ入学（令和3年度入学）



③大槌高校魅力化推進事業

教育施策

地方創生施策

【現在の取組み状況】又は【今後の予定など】

都市部の中学生親子に向けた合同説明会「地域みらい留学フェスタ」にオンラインで参加し、来年度の生徒募集をしています。

また、地域の住民や町議会、東京大学大気海洋研究所、各学園、社会教育機関、地元企業等多様な主体で協働体制を組織し、地域全体で魅力的な大槌高校の教育を応援しています。

今後は、新しい学校設定科目「地域みらい学」における地域とのコーディネート支援や、留学生の住環境整備に取り組みます。



④区画整理地内の土地利用促進

企画財政課

④区画整理地内の土地利用促進

地域振興施策

各地区の中心市街地（区画整理地内）
の
「見える化図面」

①住宅建設補助制度

②空き地バンク制度

③宅地取得補助制度

【概要】

町では、H28年7月に中心市街地（区画整理地内）の地権者に土地利用意向調査や現地の利用状況をまとめ、「**見える化図面**」を作成・公表いたしました。

また、図面で明らかになった「**未利用地**」の**有効活用**に、地権者等に対するインセンティブ（動機付け）として、**3つの制度を創設**、土地利用促進に取り組みました。

④区画整理地内の土地利用促進

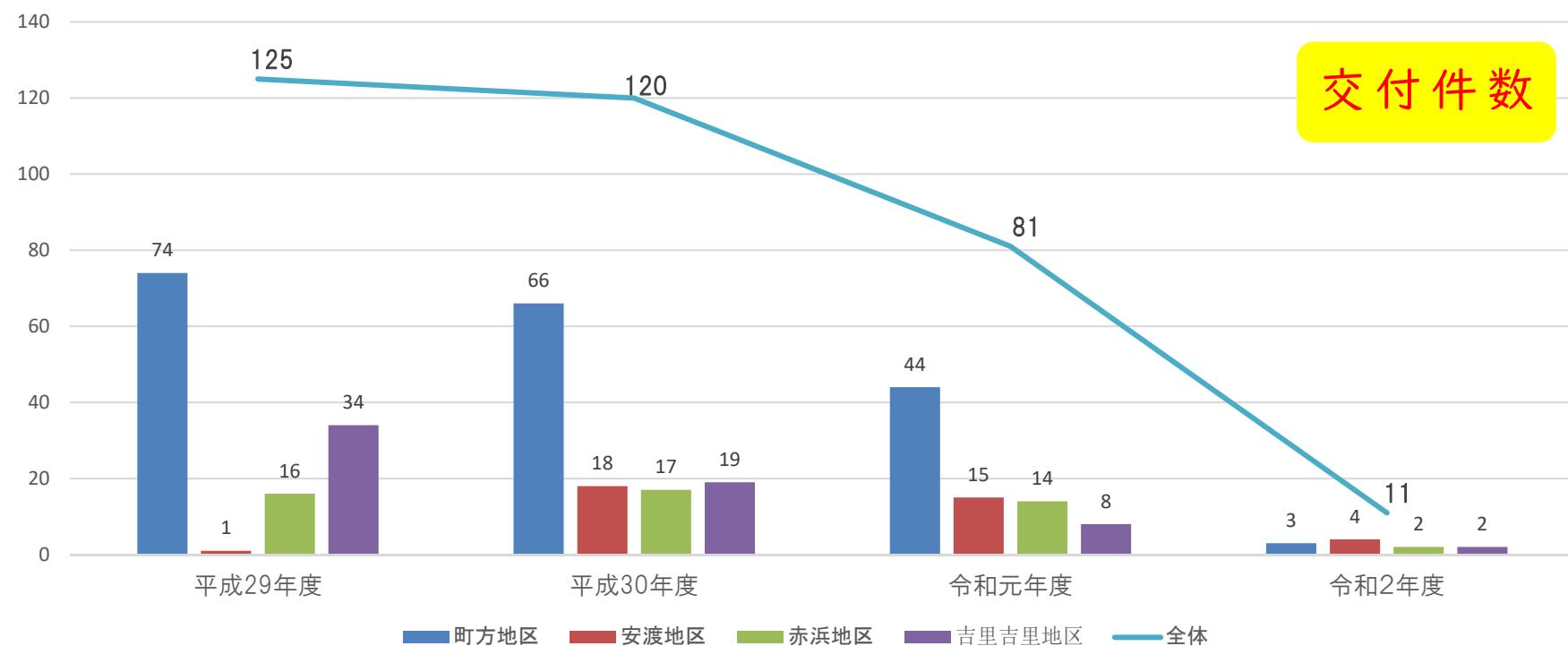
地域振興施策

①住宅建設補助制度

●総交付件数…337件（総額…3億3千7百万円）

●年度別…H29年度：125件、H30年度1：20件、R元年度：81件、R2年度：11件

○町方地区…187件、○安渡地区…38件、○赤浜地区…49件、○吉里吉里地区…63件



交付件数

④区画整理地内の土地利用促進

地域振興施策

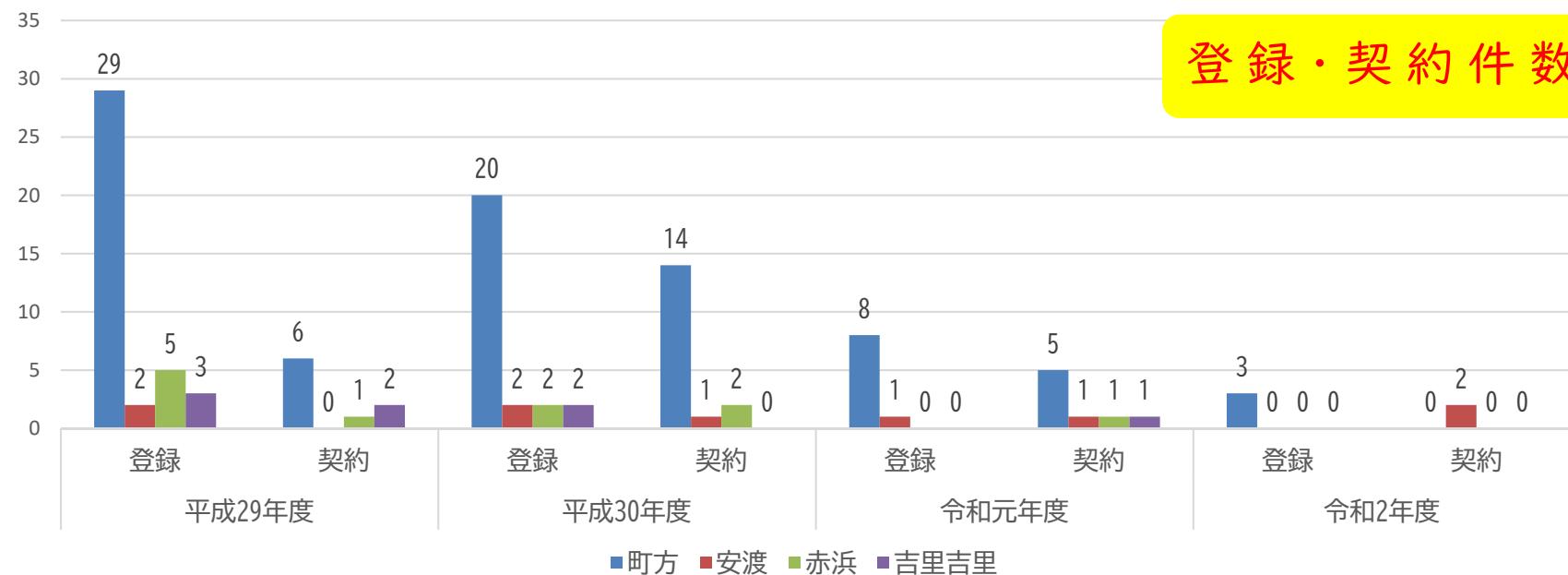
②空き地バンク制度

●総登録物件数（77件）と総契約件数（36件）の内訳

●年度別…H29年度：登録39件（契約9件）、H30年度：登録26件（契約17件）、
R元年度：登録9件（8件契約）、R2年度：登録3件（2件）

●地区別…○町方地区…60件（契約25件）、○安渡地区…5件（契約4件）、
○赤浜地区…7件（契約4件）、○吉里吉里地区…5件（契約3件）

登録・契約件数



④区画整理地内の土地利用促進

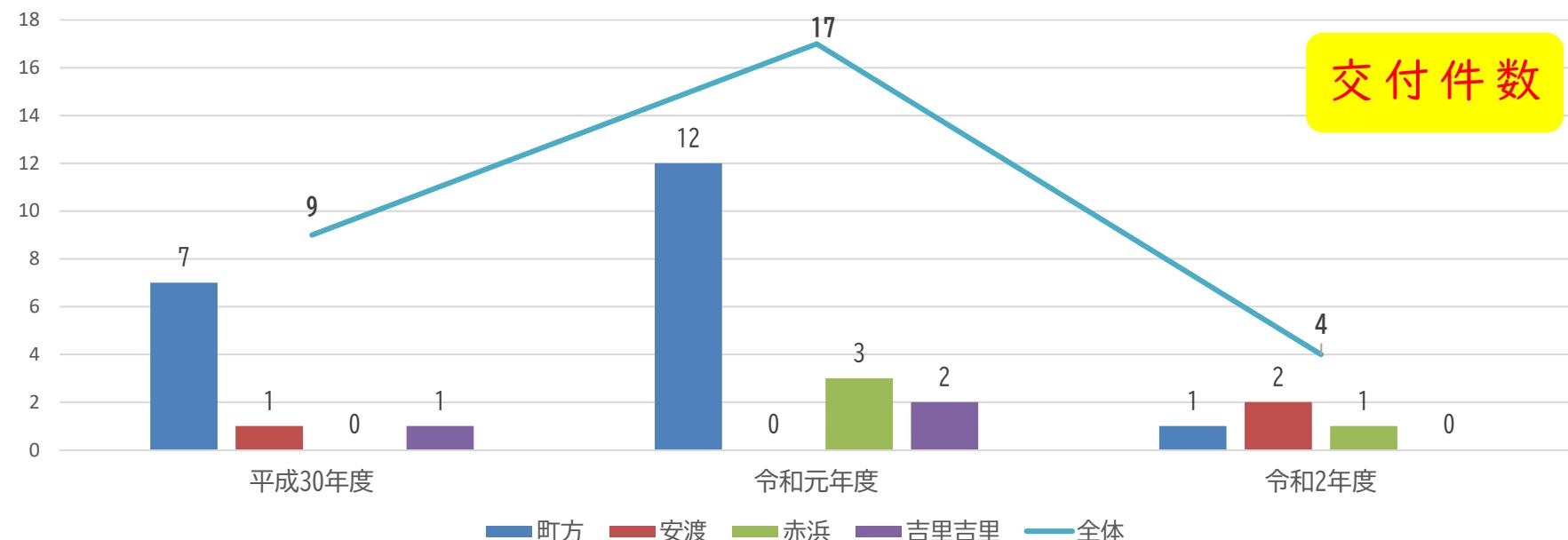
地域振興施策

③宅地取得補助制度

●総交付件数…30件（総額…3千万円）

年度別…H30年度9件、R元年度17件、R2…4件

地区別…○町方地区…20件、○安渡地区…3件、○赤浜地区…4件、○吉里吉里地区…3件



交付件数

④区画整理地内の土地利用促進

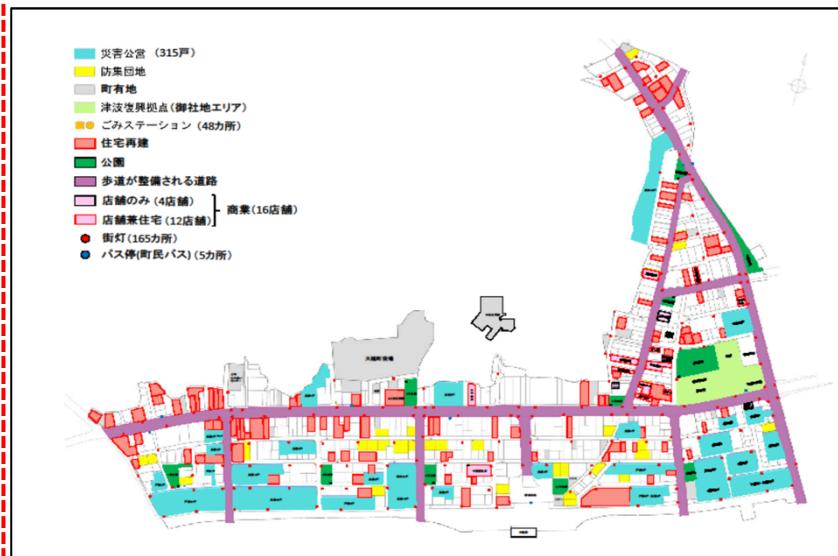
地域振興施策

見える化図面

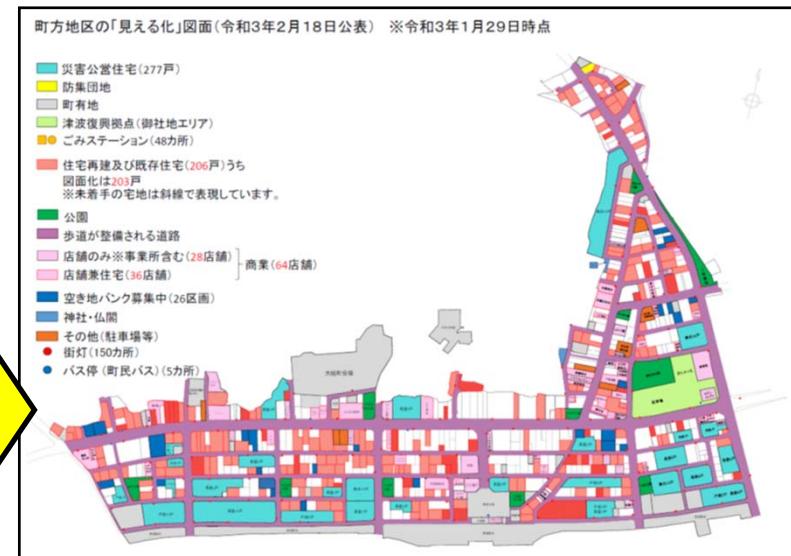
町では、H28年7月に中心市街地（区画整理地内）の土地利用意向や現地の利用状況を把握し、地区別に土地利用状況を「見える化した図面」を作成し、年1回程度公表しました。

【実績・成果】

町方地区



H28.7.4の状況



R3.1.29の状況

④区画整理地内の土地利用促進

地域振興施策

【評価と今後の方針】

- ・区画整理地内の土地利用状況は、H28年7月の「見える化図面」と令和3年1月の状況を比較すると、短期間で土地の利用促進に効果があったと捉えております。
- ・今後は、短期的な取組みから、**地域経済の好循環につながる施策**など**中長期的な視点での取組み**が必要と判断している。
- ・地域経済の活力向上を目指した第9次大槌町総合計画を着実に推進し、**地域経済の好循環**を図りつつ、**関係人口の増加から移住・定住につなげたい**と考えております。

⑤ふるさと納税特産品贈呈事業

企画財政課

⑤ふるさと納税特産品贈呈事業

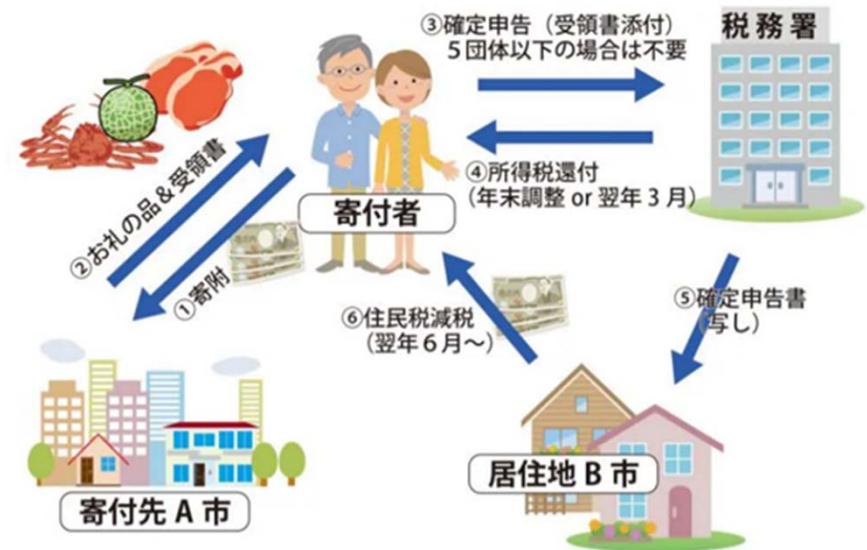
地域振興施策・
行財政運営

地方創生施策

【概要】

ふるさと納税推進会議では、活動方針や寄附の使い道の決定、特産品の審査しております。

また、新しい特産品の掘り起し、事業者研修会の開催、寄附者の税金控除等に必要な手続きの対応、寄附ポータルサイトの管理、事業者への発注指示等を大槌町観光交流協会へ委託しています。



○事業者数：36社
○返礼品数：275品

⑤ふるさと納税特産品贈呈事業



⑤ふるさと納税特産品贈呈事業

地域振興施策・
行財政運営

地方創生施策

【ふるさと納税の役割】

ふるさと納税による町の自主財源確保は、**様々な施策を実現するための有効な手段**であるとともに、地域資源を最大限に活用した**地域経済の活性化**に有効な取組みです。

大槌町の特産品と事業者のPRを併せ、大槌町の魅力を発信する返礼の工夫や贈呈品の充実を図ります。

また、贈呈品をきっかけに大槌町を知っていただき、交流人口の拡大が図れるように、引き続き、取り組んでまいります。



大槌町ふるさと納税 【公式】ふるさとチョイスの返礼品